

総合殺菌剤

ストロビー® ドライフロアブル

果樹の各種病害を
ノックアウト!



 **BASF**

We create chemistry

果樹の 主要病害を ノックアウト!

ストロビー® ドライフロアブル

農林水産省登録 第22015号

殺菌剤分類 11

有効成分: クレソキシムメチル……50.0%
 毒性: 普通物※
 ※毒劇物に該当しないものを指している通称
 包装: 500g×20袋/20kg×1袋

特長

- 1) 従来の薬剤とはまったく異なる系統の殺菌剤のため、他剤耐性菌に対しても有効です。
- 2) 果樹の各主要病害に幅広い効果を示します。
- 3) 優れた予防効果のほか、強い孢子形成阻害力で二次感染を防ぎます。

■適用病害の範囲および使用方法

*本剤およびクレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	使用方法	総使用回数*	
かんきつ	そうか病、黒点病 灰色かび病、そばかす病 褐色腐敗病、黄斑病	2,000~3,000 2,000	200~ 700	収穫14日前まで	散布	3回 以内	
	りんご	黒点病、モニリア病 うどんこ病、黒星病 斑点落葉病、赤星病 輪紋病、すす点病 すす斑病、褐斑病 炭疽病					3,000 1,500~3,000 2,000~3,000
なし		輪紋病、黒斑病 うどんこ病 黒星病 炭疽病		3,000			
		もも ネクタリン		黒星病、うどんこ病 灰星病、黒斑病 縮葉病(休眠期)			2,000
				うめ			うどんこ病、環紋葉枯病 灰色かび病 黒星病、すす斑病
すもも	炭疽病、環紋葉枯病	2,000					
	小粒核果類 (うめ、すももを除く)	環紋葉枯病		2,000			
ぶどう		黒とう病、べと病 枝膨病、晩腐病 灰色かび病、褐斑病 うどんこ病、さび病		2,000~3,000 3,000			収穫14日前まで
	かき かき(葉)	うどんこ病、落葉病 炭疽病、灰色かび病		2,000~3,000			収穫前日まで
		キウイフルーツ		貯蔵病害(灰色かび病) すす斑病			2,000
あけび(果実)	うどんこ病			3,000			収穫14日前まで
	ブルーベリー	斑点病、灰色かび病		2,000			収穫前日まで
さんしょう(果実)		さび病		3,000			収穫21日前まで
	マンゴー	炭疽病		3,000			発病初期
バナナ							
やなぎ							
せいよう きんしばい							
ぼけ							
じんちょうげ							
ポプラ							

⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
 - 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
 - ボルドー液との混用はさけてください。
 - 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさげ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
 - なしに使用する場合、開花始めから落花30日ごろまでの散布においては、葉に薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - ぶどうに使用する場合、次の点に注意してください。
 - ①ロザリオピアンコには葉に薬害を生じるので、使用しないでください。
 - ②巨峰およびデラウェアを除く品種には、新梢伸長期から開花直前までの散布は、葉に薬害を生じる場合があるので注意してください。
 - ③落花20日以降、袋かけ前までの散布は、果粉溶脱や汚れを生じる場合があるので注意してください。
 - 開花期以降のおうとうには、薬害が生じるおそれがあるので、周辺にある場合にはかからないように注意してください。
 - かきに使用する場合、西条の新梢伸長期の散布では、葉に薬害を生じる場合があるので注意してください。
 - 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - 他剤と混用して使用する場合は、事前にその適否を確認してください。
 - 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は、直ちに水洗してください。
 - 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 水産動植物への影響: 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川・養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器・空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管: 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない涼涼・乾燥した所に保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届かない所に置かないでください。

注意! 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさげ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。

本資料は2020年4月現在の登録内容に基づいています。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
 ☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>

5201010 5
202004